

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

事業所番号	0170501233		
法人名	有限会社 エイチ・ティ・エス		
事業所名	グループホームパストラル		
所在地	札幌市清田区平岡4条3丁目23-27		
自己評価作成日	令和1年11月1日	評価結果市町村受理日	令和2年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。
 基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0170501233-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部		
所在地	札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階		
訪問調査日	令和元年12月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームパストラルでは、認知症になり不自由になってしまったことを職員が支援しながら利用者様が穏やかに日常生活を送ることを目的としています。
 パストラルの取り組みとしては、看取り介護に力を入れており、グループホームでできる限り可能な医療を受けられるよう、職員の資格取得や研修に励み、利用者様が住み慣れたホームで最期を迎えることができるよう体制を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、札幌市清田区平岡の閑静な住宅地に位置する2階建て2ユニットのグループホームである。札幌南インターから近く、近隣に中学校や小学校、高校などの文教施設や平岡公園、ショッピングセンターやスーパーなどがある利便性のいい地区である。法人は、介護保険制度が始まった翌年の2001年5月に設立し、当事業所の他に同じくグループホーム1カ所、デイサービス2カ所、住宅型有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所が札幌市内と留萌に各1カ所運営しており、その他にも高齢者向けに開発したスイーツのヨーグルトを販売するなど多方面に事業展開をしている。当事業所の特長は、終の棲家としての看取り介護に力を入れており、喀痰吸引等業務認定従事者が8名もいるなど積極的な職員の育成を行っている。毎月の楽しみな外食や外出行事での利用者支援など利用者や職員にもあたたかな事業所であり、これからも地域の認知症高齢者の事業所として期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果		項目	取組の成果	
	↓該当するものに○印			↓該当するものに○印	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	研修などを通し、理解を深めるよう努めている。又、ユニットごとの目標を定め、折に触れて実践されているか確認する機会を持つよう努めている。	その人らしく穏やかな日常生活を支援しており、ケア理念もユニット毎に作成し、事業所内に掲示して常に意識付けを行い、職員間で確認しながら共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出レクや、町内の散歩などを通じ、他者との交流の機会が持てるよう支援している。	町内会に加入し、災害研修に参加したり、町内会のお祭りに参加するなど地域の一員としてつながりをもてるよう日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等を通じ、地域の方々との情報交換を行うよう努めている。又、居宅介護支援事業所や地域の方からの相対し談に積極的に情報提供するよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	施設内での活動や取り組み状況など、日常生活をわかりやすく伝えるよう努めている。又、意見交換などを通じ地域のニーズに沿った活動が支援できるよう努めている。	運営推進会議は、地域包括支援センターや民生委員、福祉のまちづくり推進委員などが参加して定期的に開催し、運営状況の報告や情報交換、意見交換などしてサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、定期的に開催し、情報交換や意見交換をしているが、利用者家族の意見や地域の方の意見を聞く機会であるため、家族と地域の方が参加しやすい工夫を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃の取り組みや、困難事例等、市町村担当者に相談を行うなど、協力関係の構築に努めている。	市区担当者には定期報告しており、清田区の管理者会議に参加やキャリアパス研修にも参加するなど協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な研修などを通じ、理解を深めるとともに、正しい知識を持って実践できるよう努めている。	身体拘束適正化委員会を設置し、3ヶ月に1回の検討会や定期的な研修会、内部研修を行い、職員全員で身体拘束の弊害を理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を通じ、虐待防止に対する理解を深めるとともに、日頃の業務において虐待に当たる行為がないか常に注意を払うよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎年、内部研修において権利擁護について学ぶ機会を持ち、理解を深めるよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結に際し、十分な時間をかけ説明するよう努めている。又、疑問点に対しては速やかに対応するよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望に対し、速やかに対応できるよう努めている。又、意見箱を設置し要望等を聞く機会を設けている。	利用者毎の写真に掲載したホーム便りを毎月発行して、利用者の生活状況を家族に報告している。玄関に意見箱を設置しているが、家族からの意見や要望は、殆どの家族が来訪するためその際に聞き取り運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員に意見を積極的に聞くよう努めている。又、聴取した意見等は速やかに反映するよう努めている。	管理者会議・リーダー会議・カンファレンスを2ヶ月に1回開催しており、個人面談は、管理者にて年1回実施して、職員からの意見や提案は運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、実績や勤務状況を把握し、個別に面談を行うなど、職員一人一人に応じた雇用形態、給与形態となるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員個人個人の力量を把握するよう日頃から努めている。又、定期的な内部、外部研修を通じ職員が学ぶ機会を提供するよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	管理者は、キャリアパス支援研修など他事業所と協力して開催し、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人やご家族、ケアマネージャー等の他職種等、事前に要望を聴取するよう努めている。又、面談などを通じ不安等の課題を少しでも軽減できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所に当たり、要望等を傾聴し、積極的にコミュニケーションを図りながら関係改善に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	聞き取りや、情報収集を行い十分なアセスメントを行い、必要な支援が提供できるよう努めている。又、他のサービスも含め柔軟に対応できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	相互の人間関係構築に努め、日常生活を通じて穏やかな暮らしが送れるよう努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	折に触れて、日々の生活の様子をお伝えし、ご家族と協力を得ながらご本人を支援していくよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	上記同様、ご家族の協力もえながら、なじみの美容室に通う等、関係が途切れないよう努めている。	家族と一緒に墓参りや美容室など行っており、また、職員とドライブついでに買い物などをして関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、共同でできる作業や、レクリエーションなどを通じ、利用者同士の交流の機会を提供し、良い人間関係が構築できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も、必要に応じて相談や支援を行うよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や、要望が把握できるよう、聞き取りやアセスメントを通じて行っている。又、本人らしく生活が送れるよう努めている。	本人や家族との話し合いで希望の意向を把握し、日々の生活の中から思いを受け止め試行錯誤しながら穏やかな時が送れるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や、ご本人、居宅介護支援事業所などの他職種から、生活歴や環境などの情報などを収集し、経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントツールや介護記録の充実など、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	要望や意向の反映に努め、カンファレンス等を通じ現状に即した介護計画立案に努めている。	本人や家族の意見や要望は、リーダーが把握して、医師や看護師からの指導や助言も含めモニタリングしカンファレンスで検討して、計画作成担当者が現状に即した介護計画を作成している。見直しは半年サイクルで行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の様子や、日々の変化など具体的に介護記録が記載されるよう努めている。又、申し送りなどを通じ情報が共有されるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の変化していく状況に応じて、柔軟にサービスが提供されるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進新会議や町内会の活動などを通して社会資源の把握に努めている。又、豊かな暮らしが送れるよう支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所以前のかかりつけ医に対し、希望があれば継続できるよう、情報提供を含め協力している。	以前からのかかりつけ医の受診は職員同行で支援している。協力医療機関は、月2回の往診で、看護師が週1回の巡回で24時間体制の適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は、かわりの中で得られた気づきや情報を看護師に伝達、共有することで、適切な看護が受けられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院関係者とこまめに協議し、経過や状況を把握するよう努めている。又、そうした場合に備えて、病院関係者との関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	入所時に本人、ご家族から終末期に向けた方針を確認し、心身状況の変化に応じて都度意思確を行うようにしている。又、重度化した場合も、医療関係者を交え協議し、連携を図りながら支援している。	重度化や終末期については、入居契約時に説明し同意を得ている。重度化した場合は、主治医が家族と打ち合わせして、看取りの意向の場合は、主治医と家族が契約書を交わし、主治医や看護師と連携して支援に取り組んでいる。また、痰吸引の資格者が8名おり積極的な支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員が定期的な研修や訓練を十分受ける機会が不足しており、今後の課題となっている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練を中心に、定期的に訓練を行っている。又、去年の震災を教訓にマニュアルの見直しや備品の確認など不測の事態に備えている。	火災の避難訓練は、消防署の指導の下、備蓄や備品を整備して、年2回定期に実施している。また、町内会の災害対策研修に参加しており、災害時の避難先としてアピールすると共に、BCPも現在作成中である。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉のかけ方や、人格の尊重など、カンファレンス等の機会に都度評価し、職員共通の課題として取り組んでいる。	接遇研修やカンファレンスは定期的に行っており、声掛けの接し方について、職員で話し合いプライドを傷つけないよう注意してケアをするよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人個人に応じて、自己決定できるような声掛けや働きかけを行うよう努めている。又、思いや希望に寄り添った対応を心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	職員の都合や決まりごとが優先される場合も見受けられるが、一人一人の希望や生活ペースに合わせて過ごしていただけるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた装いや、その人らしい服装で日々過ごしていただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人のし好に応じて、食事を提供するよう努めている。又、希望に応じて外食の機会を提供したりバイキング形式で選ぶ楽しみを提供したり工夫している。	献立や食材調達は週替わりで職員が担当している。利用者は、食器洗いなど手伝っている。行事食は、バーベキューや出張ラーメンなどで、外食は、回転寿司やラーメン店、レストラン、ランチ札幌でヨーグルトなど楽しみな食事の支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスや、季節感を大切に献立を作成するよう努めている。又、一人ひとりの状態に応じて必要な栄養が摂取できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の指示のもと、個人の状況に応じて、適切な口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人個人の排泄パターンの把握に努めている。又、排せつの自立に向けた支援に努めている。	排泄チェックシートで一人ひとりの排泄パターンを把握すると共に個別に習慣や表情などを察知して誘導しトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響の理解に努め、個々に応じた対応に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	希望やタイミングに合わせて入浴ができるよう努めているが、時間帯については、職員配置の関係上、全ての希望に応じることは難しいことがある。	入浴は週2回以上で、予定は決まっているが、利用者のその時の状況に対応しており、個々に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や活動の状況に応じて、安静を促したり、環境を整えたりして心地よく入眠できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や看護師、薬剤師と常に情報交換を行い、薬の用法容量、目的について理解を深め、症状の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や個人個人の能力を生かした生活が送れるよう努めている。又、気分転換や楽しみごと等の機会を提供するよう支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人一人の希望に沿って、外出ができるよう支援している。又、墓参りなど年中行事に参加できるようご家族と協力して支援に努めている。	日常的に近隣の学校グラウンドや公園など散歩や外気浴をしている。毎月1回外食や外出行事を行っており、トンデンファームやユニガーデン、開拓の村や平岡梅林公園、恵庭溪谷や自社開発品ヨーグルト販売店のランチ札幌など多彩な外食の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、お金の持つことの大切さの理解に努めており、少額の金銭を管理していただいたり、買い物の支払いをしていただいたりする機会を提供するよう努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて、ホームから電話したり、折に触れ親しい人たちとの交流の機会が提供できるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を大切に、季節感を取り入れながら快適に過ごせるよう配慮している。	共用空間は、採光や風通しもよく、季節ごとの飾りつけや行事参加の写真の掲示などで生活感や季節感を採り入れ、家庭的な雰囲気を大切にしており、リビングでは利用者がいつも寛いで居心地よく過ごしている。また、1階に非常口があり緊急時に活用できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、心地よく過ごせるようスペースに限りはあるが、工夫し対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や小物を持参いただき、居心地の良い空間とよう努めている。	居室には、大きな収納があり配慮している。利用者は、使い慣れた家具や馴染みの物を持参して、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人のできることを制限せずに安全に生活できるような工夫をし、目印等の工夫で自立した生活が送れるよう努めている。		